

サーモグラフィー検査				S111	
				担当部署	
サーモ				生理	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→サーモグラフィー→サーモグラフィー検査			
	2	電子カルテ→指示①→生理→サーモグラフィー→サーモグラフィー検査(冷水負荷)			
	3	電子カルテ→指示①→生理→サーモグラフィー→サーモグラフィー検査(温水負荷)			
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		検査前の喫煙、食事、運動、入浴などは皮膚温に影響するため、検査前は避ける。			
検査受付時間		8 : 45～17 : 30			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		1) 喫煙、食事、運動、入浴などは皮膚温に影響するため、検査前は避ける。 2) 下肢の検査の場合は移動手段は歩行ではなく車イスを利用する。 3) 25℃の室温にて被検部を 15～20 分露出し、室温に順応させる。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	人体(手背、 手掌、足背、 上下肢、顔面 など)	特記事項なし	特記事項なし	特記事項 なし	特記事項なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		ベッド不可			
検体受入不可基準		1) 入浴直後 2) 点滴中 3) 検査に同意を得られない患者			

保管検体の保存期間		特記事項なし				
検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		半日				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	特記事項なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		喫煙、食事、運動、入浴などは皮膚温に影響する。				
臨床的意義		閉塞性動脈硬化症、バージャー病、レイノー症候群、膠原病、糖尿病などあらゆる末梢動脈の血流障害により皮膚温低下を生じる疾患の診断と、治療効果の判定に有用である。非侵襲的であり、病変を視覚的にとらえることができ、繰り返し検査が可能。				